

ビジネスプラン・コンテストForesight 2008

テーマ:あなたの健康を支えるヘルシーライフデザインビジネス

主旨:今年の4月、「メタボ健診」が義務化されました。「メタボ健診」ができた背景には、日本人の生活習慣の変化や高齢化によって、生活習慣病や生活習慣病予備軍の人が年々増加していることが挙げられます。そして近年、その影響は中高年だけでなく、若者や子どもにも及んでいます。しかし幅広い世代の“健康”に対して注目が増す一方で、ライフスタイルの多様化等により、健康維持のための方法も個々に合わせていく必要があります。そこで、今年度の課題は、個々のニーズを満たすような「あなたの健康を支えるヘルシーライフデザインビジネス」の策定です。なお、既にビジネスプランとして確立されているものは避けて下さい。

タイムライン・要旨	
10:00-10:10 (10分)	司会挨拶・審査員紹介
10:10-10:45 (35分)	チーム名 Trickster
	会社・事業名 life-log 我々がこのビジネスを企画するに際して注目したのは、健康保険組合が何故メタボリックシンドロームに積極的に取り組むことになったのか。という点である。(中略)これらの問題への解決のために我々のビジネスにより、新たな健康のスタイルを提案できると考えられる。我々が提案するビジネスが、健康保険組合をクライアントとして捉えているということは先述の通りであるが、その内容について説明していく。まず、我々は、企業が設立している健康保険組合と協力して、その企業が抱える被保険者である社員のデータを蓄積し、そのデータを運用し、コンサルティングを行うことで自己管理の手助けを行うことがビジネスの骨子である。(中略)被保険者の情報を蓄積して、健康な状態へのアプローチを行うという我々の新規性についても、この情報化社会においてこれから更に成長性がある分野だと考えられる。また、「メタボリックシンドローム」は軽度ながら複数の疾患が複合して見られる状況を指しており、この段階で更に大きな疾病に繋がることを防いでおけば、医療費は大幅に軽減され、さらに、高額医療費を発生させる心筋梗塞や脳卒中の発症頻度も下がると考えられており、厚生労働省や、経済産業省が取り組み始めていることから、この問題は更に注目されていく分野であると考えられる。
10:55-11:30 (35分)	チーム名 TAICHAN'S
	会社名 Meter Box 事業名 SNSで健康促進サポート 事業の特徴、概要(新規性、競合性、市場性・成長性)事業の特徴は、SNSを利用し、全国の大学生(18-22歳)をターゲットに健康促進を実行する。既に、多数の健康促進SNSサイトが存在しており、競合性はあると考えられる。またターゲットを大学生限定とすることにより、新規性を出していきたい。また、「メタボ健診」の導入と共に、ターゲットとなる大学生の健康への関心が増加していく傾向もあり、さらなる市場拡大は見込めると考える。
11:40-12:15 (35分)	チーム名 松本ファミリー
	会社名 みかづき株式会社 事業名 塾弁当配送サービス 事業の特徴、概要(新規性、競合性、市場性・成長性) 新規性—夜間生徒の集う場である塾において、栄養価の高い食事を規則正しい時間に提供する。 栄養科の学校等と提携し、食事メニューの立案を委託する。 市場性—食の安全性の問題から食生活を見直す風潮がある 成長性—受験戦争の中、塾通いの生徒は今後も増加し、顧客を確保できる
12:15-13:00 (45分)	昼休み
13:00-13:35 (35分)	チーム名 福田内閣
	会社名 有限会社豊生 事業名 ヘルシーコミュニティー/地域活性化支援事業 事業の特徴、概要(新規性、競合性、市場性・成長性) 年金問題、後期高齢者医療制度、振り込め詐欺など、高齢者を取り巻く環境は年々厳しくなる一方である。そこで、これらの問題を社会的に解決すべき課題と捉え、地域住民と共に課題解決、また、地域活性化に取り組む支援事業を三田市で展開する。そして、兵庫県が県内の中学2年生を対象として、1998年から実施している「トライやるウィーク」をモデルとし、“大人”のトライやるウィークを提唱する。WHOが提唱する健康の定義によれば、健康とは肉体的、精神的、社会的に健康であることを指す。弊社が展開するビジネスに於いては、社会的健康を重要事項であると捉え、閉鎖的になりがちな世代が社会的に健康に安心して暮らせる地域社会再生を目指す。
13:45-14:20 (35分)	チーム名 株式会社シルバ
	会社名 シルバ 事業名 ぶらぶらっと 事業の特徴、概要(新規性、競合性、市場性・成長性) 私たちは、「シニア世代を今よりもっと元気にする」ことを理念に、団塊の世代やシニア世代を対象としたフリーペーパー発行事業を行います。地域密着型で、読者参加型のフリーペーパーという媒体を通して、地域での交流の場を紹介し、家に閉じこもりがちな高齢者が地域の人々との交流によって、生きがいを得られるような環境づくりを提供したいと考えます。団塊の世代がいかに地域経済に貢献できるかが課題になっている今日、今までにない視点で作成された読者にとって身近なフリーペーパーを通して、々の交流や街の活性化に貢献します。
14:25-14:50 (25分)	講評・閉会

政策プラン・コンテストView 2008

テーマ：ワーキング・プアを救え！

現在、日本の社会で指摘されている様々な労働問題の1つに、“ワーキング・プア”があります。“ワーキング・プア”とは、正社員と同じような仕事に就きながら、年間収入が生活保護水準以下の人たちのことを指す言葉です。現在、日本には500万人から700万人の人が、この状況に陥っているといわれ、今や見過ごせない大きな階層を形成しつつあります。

「もっと働きがいのある社会を———!!」

労働者がこのような言葉を口々に言うようになってしまった日本社会。この問題を身近な課題として捉え、まず自分の周りに変えていけるような政策を考えてみませんか？

タイムライン・要旨	
10:00-10:10 (10分)	司会挨拶・審査員紹介
10:10-10:45 (35分)	チーム名 Wealthy Life
	政策名 雇用維新！～神戸からの送りバント～
10:55-11:30 (35分)	コンセプト 農業で、心身ともに豊かになろう
	働けども貧困にあえぐワーキングプア。彼らの中にはお金だけでなく、未来のビジョンや生きがいをも喪失している者もいる。格差社会の是非を問うよりもまず、彼らにこのような現状を脱却してもらうのが先決である。我々は兵庫県神戸市をモデルに、同じく日本が抱える問題のひとつである「農業」によって、彼らに全く新しい生き方を、プロジェクトを通して提案したい。地域を受け皿に非正規雇用の現場では得られない、地域密着型の仕事を通して、自らの手で何かを創り出し、地域社会に貢献するといったやりがいや充実感と共に、安定的な生活を目指していくことを目標とする。また、地域住民にとってはワーキングプアの置かれている境遇や現状を知るきっかけにもなり、地域全体でワーキングプアを支えていくといった土壌や雰囲気も同時に作り出していく。
11:40-12:15 (35分)	チーム名 鎌田ゼミ
	政策名 総合政策的視点に基づく農村コミュニティ政策
12:15-13:00 (45分)	コンセプト コミュニティの形成によるワーキングプア問題の総合的解決
	本プロジェクトのコンセプトは「コミュニティの形成によるワーキングプア問題の総合的解決」です。ワーキングプア問題は、「働く貧困者」と言われるように、「金銭的な貧困」の問題であるという認識が一般に多いように感じます。しかし、それだけが問題ではないと私たちは考えます。ワーキングプアの人々の多くはパート・契約社員・派遣などの非正社員であり、これらの就業形態では正社員に比べて相対的に収入が低いことに加え、職場を転々とせざるをえず、雇用保険などの社会保障を受ける機会が相対的に低く、また、職場での人間関係が築きにくいということがあります。彼らはセーフティネットの恩恵を享受できない「社会的な貧困」、また、人と人との関わりが失われたことによる「心の貧困」にも直面しているといえるでしょう。「心の貧困」はすべての人々に起こりうることです。人と人との関わりが失われつつある今日、問題を問題として認識する意識が共有されていないがゆえに、ワーキングプアという現象がここまで広がったと私たちは考えます。ワーキングプア問題を解決するためには、「金銭的な貧困」に目を向けるのみでは不十分で、総合的な視野で原因を見定めることが不可欠です。 そこで私たちは古くからの農村での生活に着目し、『農村コミュニティ政策』を提案します。プログラム参加者は農家に弟子入りします。そして、 ・衣食住の確保による「金銭的な貧困」の解消 ・コミュニティの形成による「社会的な貧困」の解消 ・人と人との関わり合いの回復による「心の貧困」の解消 を通じて、ワーキングプア問題の総合的な解決を目指します。
13:00-13:35 (35分)	チーム名 ANDAS～一年次生～
13:45-14:20 (35分)	政策名 プアケアプロジェクト
	コンセプト ワーキングプアの子育てと自立の支援、ワーキングプアを核としたコミュニティの成立
14:25-14:50 (25分)	家族をつくることで、人生をより豊かにする。その過程において経済的にも自立できるように、住居や育児についての支援を行う。生活水準程度しか収入がなく、結婚、子育ての困難なワーキングプアに対して子育て支援を行う。ワーキングプアのコミュニティをつくることで、孤立状態をなくす。加えて、ワーキングプアを中心とした地域コミュニティを確立することで、ワーキングプアに対する社会的包摂を涵養する。
	チーム名 The Slap Kids
13:45-14:20 (35分)	政策名 THE PROJECT～よりよき雇用環境を求めて～
	コンセプト SOEによるロストジェネレーション世代の救済
14:25-14:50 (25分)	よりよい雇用環境を求めて、注目した世代はロストジェネレーション世代(1993～2004年度新卒者)である。この世代は、バブル崩壊などの背景により、非正規社員率が高く、この問題が最も深刻な世代である。そこで、今回私たちが提案するのは、ハローワークの補佐的役割を担うSOE(Satisfaction Of Employment)という組織を立ち上げ、特にロストジェネレーション世代に関して、アルバイトから正規社員への採用の有無など、さらに詳しい企業情報を提供、人材を求める企業の募集、スキル研修を行い、マッチングすることで正規社員化を達成する。また現在ハローワークで不足しているメンタル面でのケアも行っていく。
	講評・閉会